

特67

388

傳 不 止
法 轉 界
心 復

文外士ドクトル先生神傳

SEK
AIHI
CCU
RIKAE
RAZA
RUD
EN
POW



定價七錢

神歌

櫻の女心なほ
櫻ん



上杉忠元

上杉忠元神の

阿ん 嘉ん



世界轉覆止神俗

此書ハ四百餘年イタリヤ國人の推測也
吾以信甲乙年十月十日と云々
以ハ十五日間ハ天地滅却し人畜魚虫
多難多苦多事多苦悲以繁死する日割の岡古
よりんて世人寤念をりて我哭泣をる為作と
杜遠病すもより人族困窮と幸福よりんて
櫻とせんると天地初原に櫻場の若力

世界轉覆止神念

此書の四百三十二年イタリヤ國人の推測也
 吾以何中三年十一月十五日と考ふるはより
 以て十五の間に天地滅却して人畜魚鳥
 鳥獸草木等一切悉く盡する日割の圖を
 して見て世人の憂念をわき免れ樂活を爲す
 此圖を以て天の族國觀と幸福の圖と
 稱するものと天地の初原に據るべき

聖道そ古雅の思笑軒子親白大方善福小師す
 本記書未結託室字庶民関しそ可全善悦者
 ちう祭

天文非吏トクトル某謹白

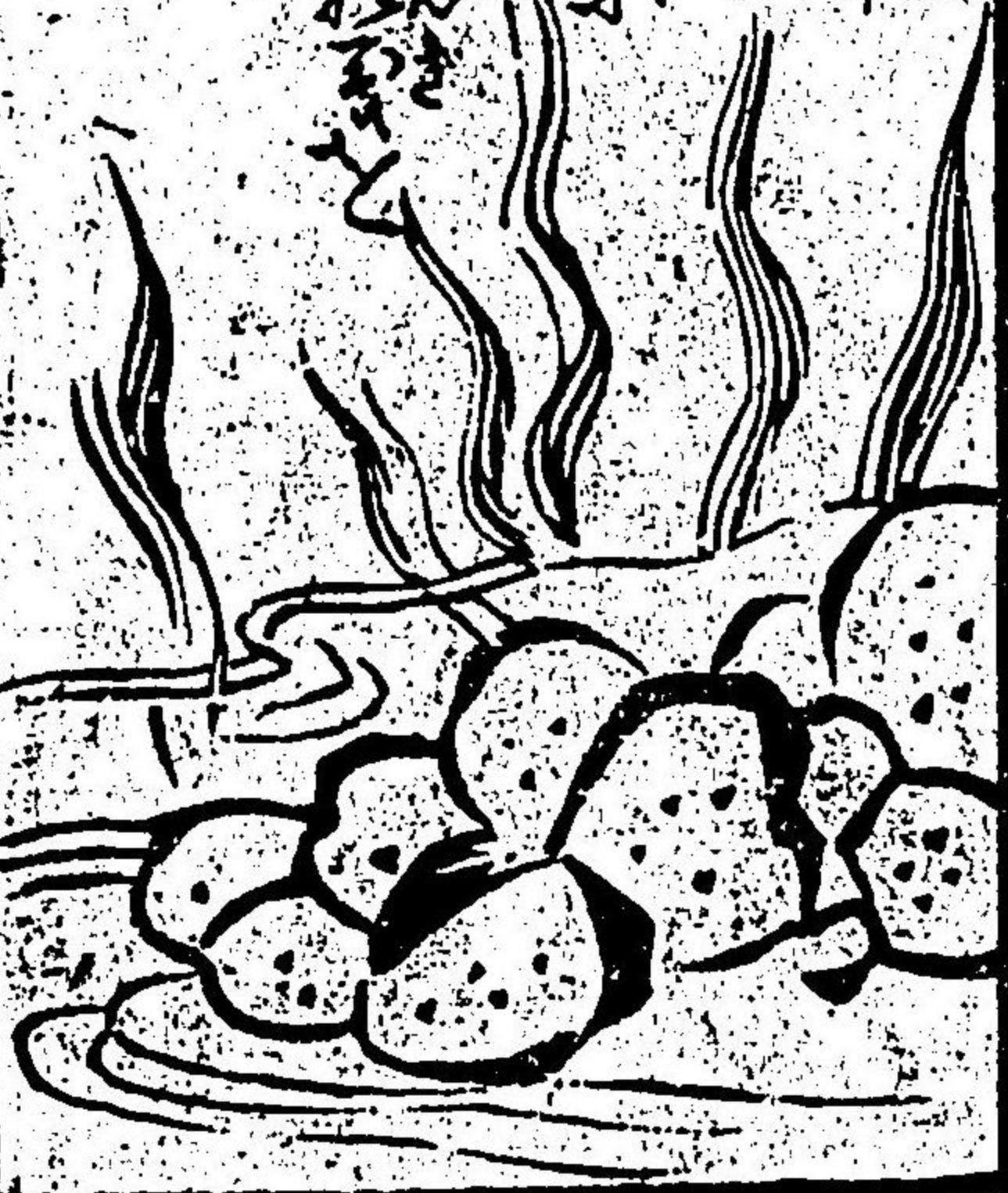


固土お総
 おお月
 安全
 息災
 延命



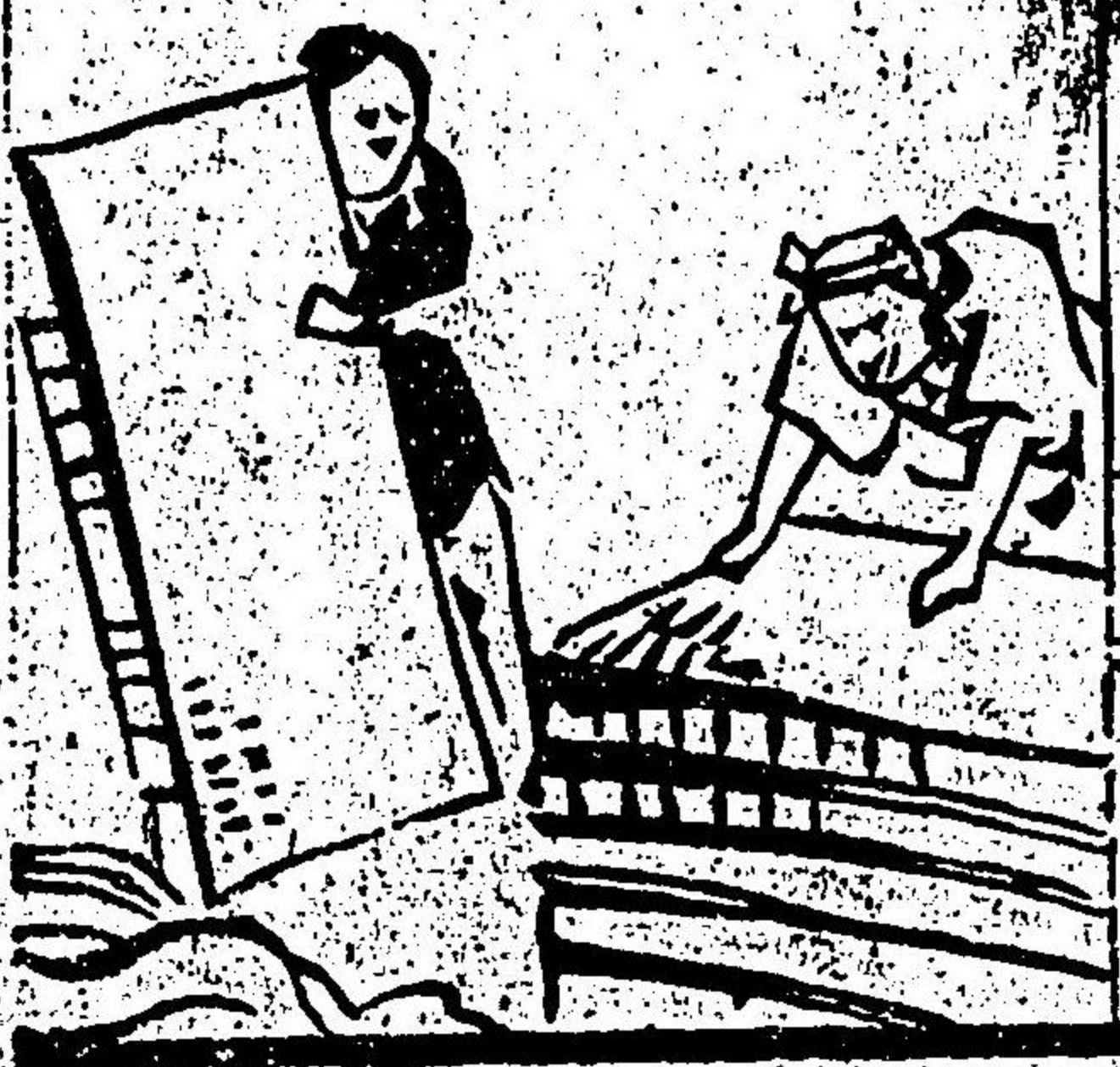
第一日目

川く水の入難とてあはれ古布一
 世の布の何かきりお岩屋彩と
 川くのみまつておとてせよ之大方
 のまるときくは舟上中下より大
 こけを獲るをいそあまらぬ此程
 戸け石をいそけくおねま
 ままに奇妙の物ありあう



第二日目

大徳水とあうてきく大徳石不
 とまらぬぬの世果中お難と海向の
 ろまらぬぬのつるをいそけく
 あらぬぬのつるをいそけく
 難人大方いそけくとまらぬ
 修徳とまらぬ



第 三 日 目

大いなる...
 世の中...
 何げ...
 ...
 ...
 ...
 ...

第 四 日 目

川の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



第 五 日 目

海...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



第 六 日 目

多...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

大いなる...



第一十日

悪魔のまじり人ハ啞黙と成るものを
防くは六十寸の所の花をみよといふ
自んららるとありけつけ
懸懸とけあまのけ
ま(ま)れバ(ま)る(ま)れと
か(ま)こ(ま)り(ま)る(ま)る
此(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
ま(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る



第二十日

地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
地(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る



第三十日

天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
天(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る



第四十日

世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る
世(ま)る(ま)る(ま)る(ま)る





編輯重工入淺草小島町
兼出板五十九番地
村上豊次郎

明治十四
年十月十
日御届

特67

386

091893-000-9

特67-386

世界不転覆伝法

村上 豊次郎 / 編・画

M14

DBO-0428

